



## 坐薬のお話

皆さんは「坐薬」というと、どうい  
う薬のイメージを持っておられます  
か？ 恐らく、「痔の薬」や「解熱剤」  
という方が多いのではないでしょう  
か。

確かに、薬局などで買える坐薬は  
「痔の薬」が多いのですが、病院で処  
方してもらう坐薬には、「便秘薬」「吐  
き気止め」「てんかん発作を抑える  
薬」「ぜんそくの薬」など、さまざま  
な種類の薬があります。

坐薬の利点としては、①飲み薬が  
飲めないときにも使える ②胃に負  
担をかけずに使える ③早く吸収さ  
れるので効き目が早く現れる―など  
を挙げることができます。一方、欠  
点はというと、①飲み薬のように手  
軽に使いにくい ②外出中は使いに  
くい―などがあります。

### ○いつどう使えばいいの？

一般的な坐薬は、円すいと円柱を  
くつつけたような形をしています。  
これは、挿入しやすく、かつ飛び出  
しにくいからです。入れるときは、  
とがった方を先にして挿入します。  
挿入しにくい場合は、先の部分を指  
で少し暖めて軟らかくすると、入れ  
やすくなります。

また、坐薬は腸を刺激して便秘  
を催すことがあります。「解熱剤」  
や「吐き気止め」など、症状がつら  
い場合は仕方がありませんが、な  
るべく排便後に入れて、30分ぐら  
いはトイレを我慢するようにして  
ください。

### ○坐薬が出てきてしまったら？

坐薬を挿入後、すぐに原形のまま  
出てきたら、もう一度新しい坐薬を  
入れても構いません。

一方、挿入後しばらくたって原形  
をとどめない形で出てきた場合は、

新たに坐薬は入れない方がいいで  
しょう。ただし、坐薬の種類によっ  
ては対応が違う場合がありますので、  
坐薬を処方された病院や薬局  
で、念のために対応を尋ねておくよ  
うにしましょう。

### ○保管はどうすればいいの？

坐薬は体温で溶けるように作ら  
れているため、冷蔵庫で保管してお  
きます。この際、冷蔵庫を開け閉め  
して庫内の温度が上がりがり、坐薬が  
少し軟らかくなっても形が崩れな  
いように、とがった方を下にして  
置くようにしてください。

また、薬を持って帰るときも注  
意が必要です。特に、夏の車中に放  
置すると溶けてしまいますので、  
車を離れる必要がある場合は、坐  
薬を持って出るようにしてください。  
そして、持ち運ぶ場合も、なる  
べくとがった方を下にするように  
してください。